

笠岡工業高校環境土木科2,3年生が 橋梁施工について現場で勉強しました

令和7年5月28日



5月28日（水）に、笠岡工業高校を対象として、一般国道2号笠岡バイパスの工事について現場見学会を開催しましたので、その様子をお伝えします。



今回の現場は
ここです！



令和4年度 笠岡バイパス新神島大橋鋼上部工事



始めに、岡山国道事務所の山下建設専門官が一般国道2号笠岡バイパスの事業説明を行いました。

今回の新神島大橋鋼上部工事ってどんな工事？

施工前



施工中



一般国道2号笠岡バイパスのうち、岡山県笠岡市横島地内から神島地内における橋を架ける工事です。

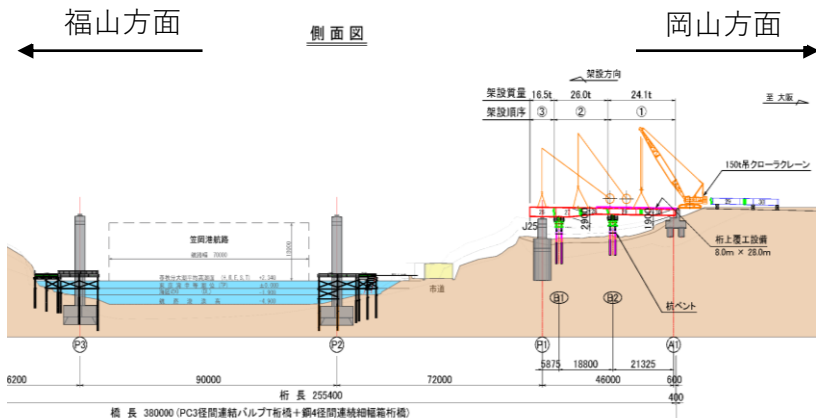
今回の橋ってどうやって作ってるの？（橋の架けかた）

次に、現場を施工している宮地エンジニアリング(株)の担当者より工事の説明を受けました。
クレーンを用いて橋を作る「**クレーン架設工法**」と、
台車設備を用いて橋を作る「**送り出し架設工法**」の
2種類の工法を使って今回の橋を作っています。



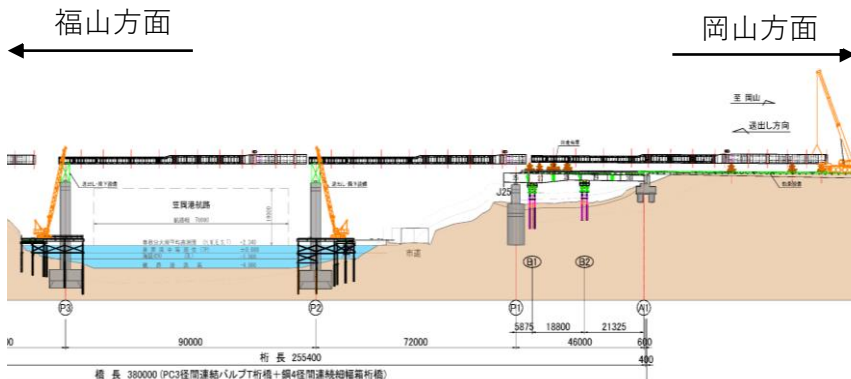
クレーン架設 （陸側の施工）

岡山方面側からクレーンを使用して桁を架設する。



送り出し架設 （海側の施工）

岡山方面側から台車設備を使用して、
桁組立→送り出しを繰り返す。





説明の後は、新神島大橋の床版（橋の上）に移動しました。



橋の下をのぞき込む生徒



橋からの景色を一望する生徒

この日は天気も良く、橋の上は心地良い風が吹いており、快適な現場見学になりました。



現場担当の方へ、橋の構造について質問する生徒の方もありました。写真は橋の排水方法について説明をしてもらっています。



最後は、生徒の方からお礼の言葉をいただき現場見学を終わりました。

感想の紹介です！

／ 今回の現場見学で学校の方より感想をいただきました ／



海上に大きな橋脚が作られ、橋長も長い新神島大橋の迫力や、施工技術の高さに感動しました。また工事費がすごい金額であることにも驚きました。安全管理や工程管理の工夫についても学ぶことができました。

生徒 Aさん

新神島大橋のような周囲一面が海で囲まれている現場に「送り出し工法」が適していることがよく分かりました。バランスを保つために少しずつ送り出すとき、少しでもずれると崩れてしまうと教えてくださり、見学した私にも緊張感が伝わりました。スケールの大きさなど土木の魅力を、もっといろんな人にも見てもらい、私達と一緒に土木事業に関わることができたらいいなと思いました。

生徒 Bさん



学校から近く、生徒たちに馴染みの深い笠岡バイパスを見学できたことは、生徒の進路選択にとって非常に有意義であったと感じています。見学した生徒は1年生の時から笠岡バイパスに関連する工事を見学する機会をいただいております。だんだんと完成に近づいていく様子を見学することで、建設業のやりがいを実感できたのではないかと思います。在学中にこれほど長期間にわたり同じ事業の現場を見学できたことは、生徒にとって貴重な経験であり、非常に幸運なことだと感じています。関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

先生 Cさん

真っ白な床版の上を歩いてみて、笠岡バイパスが出来上がっていくのを実感し、早く車でも走ってみたいと感じました。海の上に橋を架ける方法も教えてもらい知識が深まる一日となりました。

記事作成：計画課 I

